



国際ロータリー
第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

御殿場ロータリークラブ 週報



御殿場ロータリークラブ
モバイルサイト

第2700回 例会プログラム

- 例会場 / 東山荘講堂
- 開会点鐘 / 12:30
- ロータリーソング / 奉仕の理想
- 内容 / 太鼓日本一への挑戦
山内強嗣君

会員慶事

- 結婚記念日 / 5月28日 若林 洋平君 雅美様 ご夫妻
- 皆出席 / 5月23日 斉藤 衛君 (ロータリー歴21年)
5月23日 渋谷 一君 (ロータリー歴21年)
5月23日 山崎伊久雄君 (ロータリー歴21年)

会長挨拶

勝又 誠



地球上のエネルギーは、ほぼ100%太陽エネルギーが形を変えたものであり、例外は原子力と地熱エネルギーだそうです。石炭、石油、天然ガスといった化石燃料は、植物が光合成によって気の遠くなるような長い時間をかけて大気中のCO₂を炭素として固定して、地下に蓄えてきたものです。

植物は太陽エネルギーを固定し虫や鳥に与え、動物はこれらを自らの運動のために摂取し活動することで循環させています。ヒトは自ら野菜・果物を栽培し、家畜を飼い、魚を養殖してエネルギーを生み出すという特別な立ち位置ではありますが、この循環の中で共存しています。

驚いたことには、生物学の方ではヒトは長い進化

の末に、唯一遺伝子の呪縛から脱することに成功した生物だそうです。遺伝子の呪縛とは「争え」、「奪え」、「縄張りを作れ」、「自分だけ増えよ」という利己的な命令です。これとは逆に、「争うのではなく協力し」、「奪うのではなく分け与え」、「縄張りをなくして交流し」、「自分だけの利益を超えて共生する」こと、つまり遺伝子の束縛からの自由にごそ新しい価値を見出した初めての生命体がヒトであり、この価値に気付いたこと自体がそもそも進化した遺伝子のなせるわざかもしれないということです。

こんな話を聞くと、ヒトは生まれながらにして利他的であり、奉仕の精神を備えているということになり、何事も心配無用なのだと思えてしまいますが、世の中で起きていることを見るにつけ、この遺伝子のスイッチがONになっていない人がまだまだ多いようで、「私利私欲」から「公共性」に至る道のりは遠いようです。



5/18の出席報告

| 会員数 | 出席計算に用いた会員数 | 出席者数 | 暫定出席率 | 前々回の確定出席率 |
|-----|-------------|------|-------|-----------|
| 53名 | 50名 | 44名 | 88% | 100% |

欠席者 (6名)

秋田 敬君 石川又英君 勝又安彦君 斉藤礼志君
高村繁男君 山内強嗣君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

4/27のメーキャップ

- 4月27日 ワールド大阪ロータリーEクラブ 山内強嗣君
- 4月28日 北海道2500ロータリーEクラブ 石川又英君



司会 菅沼良将君 出席報告 勝亦敦志君 会員誕生日 長谷川雅也君 皆出席 久保田勇輝君



IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

次回
6月1日の
例会

★名鉄菜館 ★12:30
★ウクライナの過去と現在
ミロスラヴァ・ディアチンスカ様
(愛称: ミラさん)